

図書室から Book  
**Guide**  
 No.238  
**ごろべえもののけのくにへいく**  
 おおとも やすお作/絵  
 童心社  
 1400円+税

昔、ごろべえという強いさむらいがいて、今までどんなものも怖いと思っただ事がなかった。「怖い」ってどんな気持ちなんだろう」と知りたいうろべえはものけの国へ旅立ちます。そこでは、様々なものけに出会うのですがごろべえはちっとも怖くありません。がっかりしたごろべえの前に寺の小僧があらわれ「私があなただを怖がらせてあげます」といって・・・  
 どんな妖怪も怖がらないごろべえでしたが、思いもかけないところで『怖い』を知る事になります。その意外な『怖い』の理由にくすくすとして心がなごみます。



## なが い 地域の課題に 編集後記 72

◆「私の家はどこでしょう?」「帰り道がわからなくなってしまいました」と夕暮れ時にセンターを訪ねてきた男性の高齢者の方。足腰はしっかりしていらっしや、歩くことは問題ない様子。だから散歩を楽しむことは当然なのだろうが、どうやら「認知症」らしく帰り道がわからなくなってしまったようだ。お名前を伺うと「〇〇です」と明確に答えられる。わりと珍しい苗字だったので検討はついたが、「近くに目印になるものありますか」と尋ねると「病院があります」とのこと。確信をもって道を教えることができた。

◆後から聞いた話だが、その方の奥様は寝たきりで、二人暮らしだそう。「認知症」なのだから誰かがついていってあげられればいいのだが、それもままならない環境にある方はどうすればいいのだろうか。その方の支援として介護保険制度によってヘルパーの派遣があるのかもしれないが、生活するのに突然何か足りないとする買い物に出かけなくてはならないだろうし、寝たきりの奥様のために何かしなければならぬことが起きるかもしれない。いや、足腰が丈夫なのだから散歩を楽しみ、外の空気を吸いたいと願うのは自然なことだろう。

◆そんな話をしたら、「私はこの前、腰が曲がった女性が大きな荷物を抱えていたので『お手伝いしましょう』と声をかけたらもう大変。「5mくらい歩くと

5分ぐらい休む」を繰り返すので、わずかそこまでの家にたどり着くのにものすごく時間がかかった」「たまたま時間がある日だったからいいようなものの・・・」と。

◆菅生地域の多くは昭和40年代に開発されて、当時働き盛りの人が移り住んできた町だ。その人たちが暮らし続けて、現在80歳代に到達しようとしている。その多くの家庭の子どもたちは、それぞれ独立し、残っているのは高齢者だけ。地域によっては「超高齢化現象」を招いている。

◆この5月12日に第43回のわかば祭が開催される。昭和40年代に菅生に移り住んだ開拓世代の方々が設立に尽力してくださり、菅生こども文化センターの今がある。43回と喜んでばかりいられない。菅生こども文化センターの地域課題として「子育て」に関することは、当然のこととして継続しているが、併せて開拓世代の「超高齢化現象」にいかに対応していくかを考えることも急務と言えよう。菅生こども文化センターの誕生を見たのは、開拓世代が地域の子どもたちの伸びゆく姿を考え、成長発達に必要不可欠な「児童館」を、川崎市に作ってほしいと嘆願を始めて10年近くの月日を費やして漸く建設された菅生こども文化センター。その恩に報いなくてはならない時代が到来している。

統括館長：針山直幸

NPO Akaiyane  
 特定非営利活動法人 あかい屋根  
 NPOあかい屋根広報紙  
 発行：特定非営利活動法人 あかい屋根 ひまわり編集部  
 044-976-0444  
**ひまわり**  
 第513号  
 2019/5/1

第3回 **唱歌を歌う会**  
**コンサート**

6月9日(日) 午後1時～3時 **入場無料**  
 菅生こども文化センター・集会室

指揮：柴田勇作  
 伴奏：三井恭子

「唱歌を歌う会」は発足7年。毎月2回、菅生こども文化センターで練習に励み、楽しく唄い、声を出すことが健康に良いことと実感している毎日です。  
 このたび、3回目のコンサートを開催することにいたしました。懐かしい歌の合唱や独唱なども企画しております。皆様お誘いあわせの上、ご来場いただけるよう、会員一同心よりお待ちしております。

気軽どうぞ 母と子のあそびのひろば



**ががおらんど**  
 5月17日(金)10:30～11:30 (無料)  
 菅生こども文化センター  
 5月のテーマ **「これな～んだ」**

菅生の「がお」から名前を付けた「ががおらんど」。お母さんと一緒に「集団体験」と、毎月主に第3金曜日にスタッフが遊び相手になって作り上げている時間です。最近は3歳から幼稚園に行くお子さんが多く、就園前の1・2歳の子どもたちのコーナーになっています。みんなで子育て・・・参加を待っています。





# 水沢森人の会の皆様 ありがとうございます

今年もまた「水沢の森」で竹林整備の一環とした「竹の子掘り体験」を4月20日(土)に実施させていただきました。毎年、一人当たり大小はあるものの3本程度ずつ分けて持ち帰れたのですが、今年は一生懸命探すもののなかなか見つからず、収穫は例年の半分程度。

掘りあてた子も、見つけることができなかつた子も、みんなで分け合うのがこの「竹の子掘り体験」の約束です。最終的には一人1本半に分けて持ち帰りました。頭では理解できても「あんなにたくさん掘りあてたのに」「頑張ったのに」と思わず涙を流す子も・・・。

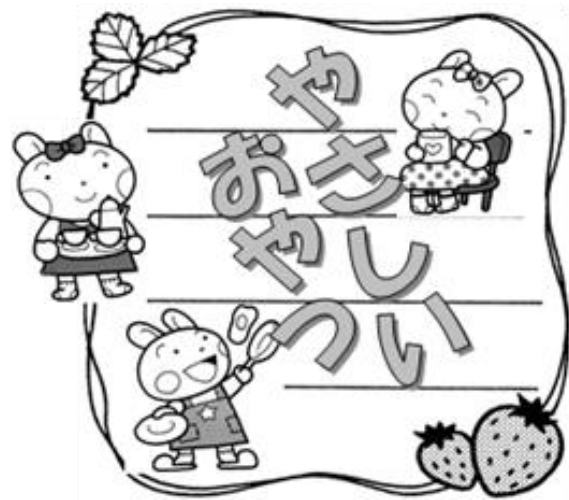
1年生には水沢の森までは

遠距離で、体力の限界となってしまった子も。車社会の子どもたちには大変のようだが、もう少し「頑張る力」があってもとの思いも・・・。

今年も「水沢森人の会」の皆様には大変お世話になりました。



蔵敷・菅生こども文化センターから  
「竹の子掘り」に100名の子どもたちが参加



4/26～受付開始 1・2年生 20名  
5月10日より毎月1回  
費用：170円/月(材料費)  
5月10日(金)パンケーキフルーツ

子どもたちは食べるのが大好き。ましてや自分が苦労して作ったものは多少見た目が悪くたって、味に微妙に問題があったって、大事な大事な作品なのです。

「おいしいね！」スタッフもボランティアも積極的に声をかけます。「うん！」と鼻をふくらます子どもたち。「作った」ことが「やった！」という自信となっているようです。

料理は「刃物」も使い、「熱」も使い、ある意味で「危険」が伴います。子どもたちにとっては大冒険。今まで「やっちゃダメ」と言われていたことに堂々と挑戦でき、成し遂げた喜びは「成長」に結びつきます。

「刃物」「熱」は料理には欠かすことができないものであるからこそ、「危険」の回避方法を知っておく必要があります。そんな体験を一緒にやってみませんか？

# 5月のおしらせ

## 菅生こども文化センター

☎044-976-0444

7・14・21・28日(火) 16:15~17:30  
**卓球クラブ**  
小学4~6年クラブ員 100円/月

8・15・22・29日(水) 14:30~16:30  
**あそべば** 誰でも 無料  
8日 七輪の日  
15日 おもいっきりドロケイ  
22日 ストローハーモニカ  
29日 シッティングバレーボール

8(水) 15:00~16:30  
**おやつづくりクラブC&E(抹茶クレープ)**  
3~6年クラブ員(まだ申込み可) 170円

9・16・23・30日(木) 15:30~16:30  
**居菓子屋「ぶん」**  
誰でも 10円~(但し1日100円迄)

10日(金) 15:00~16:30  
**やさしいおやつづくりクラブ**  
(パンケーキフルーツソース)  
1・2年クラブ員 170円

17日(金) 10:45~11:30  
**ががおらんど(これな〜んだ)**  
幼児とその保護者 無料 当日ご参加ください

17日(金) 17:00~19:30  
**もぐもぐ亭(焼き餃子定食)** 誰でも 300円  
17:00~夕食作り(自由参加)  
18:30~開店



25日(土) 10:00~15:00  
**ONEぱーく**  
(煮込みハンバーグ&スプーン作り)  
2~6年 250円  
3年生以上は定員無し 20日〆切

## 蔵敷こども文化センター

☎044-977-2577

1日(水) 13:00~15:00  
**ポコペン大会**  
誰でも 無料

8・22・29日(水) 15:00~16:30  
**ぞうさんのポケット** 誰でも 無料  
8日 七輪の日  
22日 のんちゃんの工作教室  
~ダンボール編~  
29日 天下大会

10・17・24・31日(金) 16:00~17:00  
**だがし亭きらびい**  
誰でも 10円~(但し1日100円迄)

15日(水) 15:30~16:30  
**忍者駆羅武**  
小学生 無料



16日(木) 10:30~11:30  
**こぶんらんど(はらぺこあおむし)**  
幼児とその保護者 無料 当日ご参加ください  
※地域子育て支援センターすぐおで実施

25日(土) 14:00~16:00  
**Kidsキッチン(紅茶のパウンドケーキ)**  
170円 小学生 30名 要申込 〆切22日

